

## 一年中おいしいいちごを全国に

### ○課題

現在のいちご栽培では、冬場のクリスマスシーズンや、本来旬である5～6月ごろまでの出荷がほとんどであり、7～11月まではほとんど出回っていない。夏いちごは酸味が強くおいしくないものが多い。また、冬場の栽培においても、低温にならないよう、石油暖房機で加温しなければならず、環境にも経済的にも悪い。

### ◎私のゆめ

- ①一年中おいしいいちごを安定的に栽培・出荷したい。
- ②環境にも経済的にもやさしい栽培を行いたい。

### ○提案

- ①イチゴは高温が苦手な植物なので、夏場のハウス内を25℃以下にする必要がある。  
→栽培する場所を避暑地で行う。  
→河川の水を利用してハウスの温度を下げる。

- ②石油を使わない暖房器具  
→温泉排水からの熱を利用してハウス内（畝）を温める。

また、ハウス栽培においては、作物の生長に二酸化炭素が不可欠です。外気から二酸化炭素を取り込み、酸素を放出することで、同時に温暖化対策も可能となります。

### ○栽培適地

- ①避暑地若しくは、河川がある土地
- ②温泉がある土地

避暑地はなかなか無いですが、河川は国内に数えきれないほどあります。温泉地は、国内に3000弱あります。

それらを有効活用して、環境にやさしくおいしいいちご栽培を提案したい。